

知りたいネタに
ググッと近づく

募集！ 「栄養改善パートナー」

「栄養改善パートナー」は こんなときに役立ちます

SUPPORT



JICAボランティア

任地の食事は肉が中心。家庭菜園を導入して、健康増進に役立ててもらいたいけど、何から始めたらいいんだろう？

栄養改善パートナーにご参加ください！ 栄養改善に貢献する作物の選定や栽培方法などを栄養タスクチームや専門家をご紹介します。また、優良事例や経験談などもお伝えしています。



栄養タスクチーム



JICAボランティア

任地で栄養に関する啓発活動を行いたいけど、栄養の専門家ではないため、知識が乏しい。どんなことを紹介したらいいんだろう？

栄養改善パートナーにご参加ください！ 参考となる情報やツールをメールマガジンなどで提供します。また、参加者同士で学び合えるように、今後、ウェブ上に情報交換の場を設ける予定です。



栄養タスクチーム

【申し込み方法】

1. メールを送る。
栄養改善パートナー事務局の登録申請窓口・問い合わせ
E-mail : rdga2-nat@jica.go.jp
2. 栄養改善パートナー事務局から申請用紙が届くので、必要事項を記入して、返信する。

【サポート体制】

栄養タスクチーム
(JICA農村開発部・人間開発部・青年海外協力隊事務局)

「持続可能な開発目標（SDGs）」では、飢餓撲滅と栄養不良解消が目標のひとつに位置付けられ、第6回アフリカ開発会議（TICAD VI）では、「食と栄養のアフリカ・イニシアチブ（IFNA）」も立ち上げられるなど、栄養の問題が世界から注目されています。そこでJICAは、開発途上国の栄養改善の促進と優良事例・経験の学び合いを図る「栄養改善パートナー」制度を立ち上げました。

JICAボランティアの活動は、工夫次第で栄養改善に大きく貢献します。「栄養改善と言われても、何から始めていいかわからない」というボランティアの方々もご安心ください。栄養改善パートナーに登録すると、「栄養タスクチーム」と呼ばれるJICA本部の専門チームや栄養にかかわる専門家から助言、支援が受けられます。参加を希望する方は、左記窓口までご連絡ください。

FEATURES

栄養改善パートナーに参加する3つのメリット

1

専門家からの助言

栄養改善に関して、JICA本部の専門チームや栄養にかかわる専門家からのアドバイス、支援が受けられます。

2

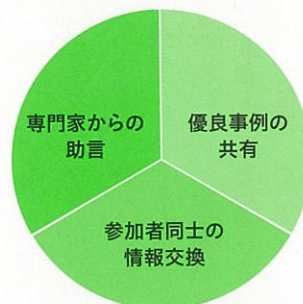
優良事例の共有

「栄養改善パートナーツールキット※1）や「栄養改善パートナー通信※2）」により、優良事例などの共有ができます。

3

参加者同士の情報交換

「栄養改善パートナー Facebook（今後開設予定）」を通じて、栄養改善パートナー参加者間で情報交換ができます。



みなさまのご参加をお待ちしております！

栄養タスク
チーム



JICAが立ち上げた、開発途上国の栄養改善の促進と優良事例・経験の学び合いを図る「栄養改善パートナー」制度についてご紹介します。

※1 専門員が作成した勉強会用資料や国際機関の使用ツールを日本語訳などをテーマ・レベル別などでまとめたもの。
※2 現地の活動事例、食と栄養に関する基礎知識、国際的な取り組みの動向などを紹介。
(※1、※2ともメールで送付し、バックナンバーは今後開設するウェブサイトなどにリンク先をアップする予定。)